

# 所信

一般社団法人東海青年会議所  
2022年度 理事長予定者 河合 崇晴

## はじめに

2020年初頭、世界中でパンデミックを引き起こした新型コロナウイルスの影響は2年を経過した今尚甚大で、この目に見えない脅威に経済的にも社会的にも大きな影響を受け、当たり前であった日常の活気ある光景も影を潜めました。緊急事態宣言が発令され外出自粛を余儀なくされ、私たちの日常生活は大きく変化し、「何が正解で、何が答えなのか」はっきりしない不安があり、混沌とした先行きが見えない現状が続いています。

青年会議所の歴史を振り返ると、戦後復興の混沌とした状況下で「まちのために」「国のために」立ち上がろう、そんな強い志を抱いた青年が集い活動が始まりました。月日が流れ、青年会議所活動は幾度となく未曾有の困難にも立ち向かい力を合わせて乗り越えてきました。

まさに今、先行きが不安な時代だからこそ強い志を持った運動が必要だと私は確信しています。2022年度は新型コロナウイルスと共存する新しい時代に果敢に挑戦し、出来ないことを考えるのではなく、青年としての英知と勇気と情熱を持ってどうすれば出来るかを考え、強い志を持ち郷土である東海市の輝く未来を見据え、明るい豊かな社会の実現のために取り組んで参ります。

## 基本に忠実な組織運営

青年会議所は地域の青年経済人で形成されている組織であり、「会議所」の字のごとく会議を主体とし、人事や事業を含め全てのことを理事会や最高機関である総会といたった会議で決議されます。その基本は時代が変化しても決して変わることはありません。会議が止まれば運動も止まる、そんな状況を絶対に避けるべくWebと対面のハイブリッド形式の会議を取り入れ「誰もが参加できる活動」を確立させます。

そして、顔を合わせる時間が減少する状況であるからこそ、青年会議所組織の核となるメンバー一人ひとりが伝統ある東海青年会議所の一員としての自覚や志を強く持つ JAYCEE となり、急速な時代の変化に迅速に対応しつつ思いやりを持った行動が出来る人材を育成する組織運営を行って参ります。

## 東海市を活性化する組織

新型コロナウイルスの影響で全国的に自粛を余儀なくされ、まちからは活気がなくなり、人と人との繋がりが薄れ、まちから笑い声や笑顔が見られなくなってきた昨今、明るい豊かな社会の実現に向けて活動している青年会議所としては耐え難い状況です。愛する東海市が活気であふれ、郷土愛に満ちた明るく豊かな社会の実現のため、我々青年会議所メンバーが活気を取り戻し起爆剤となり声を上げ、まちのみんなを巻き込み、同じ目標を共に達成したという喜びを共有すればもっとまちを好きになり、郷土愛を高めることによってまちの活性化に繋がると考えます。

行政や各種団体はウィズコロナやアフターコロナの名の下に感染拡大防止を最優先に考えたイベントやお祭りの開催に向け試行錯誤を重ねています。今こそ我々青年会議所が、不安を抱えながらも率先して新しい活性化の形を模索する地域にとっての光となるべく活動して参ります。

## 輝く笑顔の絶えないまちへ

一人の父親としてとて考えることがあります。郷土の宝である子どもたちの笑顔はコロナ禍で変わってしまっていないだろうか。我々が子どもころの笑顔と比較して同じ環境での笑顔だろうか。学校での成長を感じられる運動会といった行事の縮小開催や、大型連休での家族旅行の自粛など今の子どもたちは新型コロナウイルスの影響で閉塞感の強いストレス社会の一番の被害者になっています。国立成育医療研究センターの調べでは高校生までを対象としたアンケートで 72%の子までが新型コロナウイルスの影響でストレスを感じていると回答しています。郷土の宝である子どもたちがストレスなく心の底から輝ける曇りのない笑顔を我々は途絶えさせてはなりません。自然と触れ合い自生する植物と触れ合ったり、まちでは見られない昆虫をみることで小さな命の大切さを知り、自然の優しさを感じ、子どもらしい輝く笑顔を育む事業の展開を構築して参ります。郷土の宝である子どもたちの笑顔が住みよいまちのパロメーターとなり青年会議所の掲げる明るい豊かな社会の実現に繋がるものと確信します。

## 増え続ける組織であるために

会員の減少は全国各地の青年会議所の課題であり、深刻的な問題となっています。東海青年会議所も例外ではなく、私が入会した時の 100 名近くいたメンバー数も

2022 年度は約 50 名でスタートとなります。

私は会員減少を時代の流れ、環境の変化だと原因を何かに押し付け目を背けていた部分がありました。組織とは個の集まりで形成されておられ、個であるメンバー一人ひとりが友人や仕事仲間を誘えば増え続ける組織は簡単にできるでしょう。しかし、誘うメンバーが魅力的に成長していない団体に入会する事は極めて難しいことと私は考えます。そこで、会員の資質を向上するべく事業を開催し、強い志を持った地域にとって魅力ある人材を育成して参ります。また、会員拡大を他人事ではなく自分事と捉えてもらうためにも 2022 年度は拡大委員会を設けず、LOM 全員で同じ方向を向き組織として会員拡大に力を注ぎ全国で一番強固な組織となるべく邁進して参ります。

## むすびに

私が東海青年会議所に入会して 18 年、時代の変化と共に青年会議所も常に変化を続けてきました。周りを見渡せば、いつしか地域には様々な団体が存在し多様化するニーズに対応しており、「JC しかない時代」から「JC もある時代」と言われる時代になりました。

多くの各種団体がある中、私はこの組織にしかないものがあると確信しています。  
それは JC 創始の精神である

「奉仕」

「修練」

「友情」

三つの信条。

この信条の下、奉仕の根源となる「誰かのために」そんな強い志を持ち、まちのために、地域のために、郷土のために、未来のために強い志を持ち、メンバーと共に不易流行の理念で進化し自分たちの活動を信じ 1 年間誠心誠意活動して参ります。